

事業者の暮らしと営業を壊すな

6月12日 財政市民委員会 池田ゆみ委員

札幌市内4つの民主商工会から「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入延期・中止を求める意見書（案）の採択を求める陳情」が出されたことを受け、この陳情を採択するべきだとの立場で池田市議が質問に立ちました。

同市議は最初に「インボイス制度が導入されることによって、本市において様々な影響や混乱が起きると考えますが、本市のお考えは」と質問。市の担当者は「定着に向けた経過措置等も含め、国において議論されているものと認識しております」と国がする議論だと丸投げ。市内の業者を守る姿勢に欠けるでした。続けて同市議は「国が事業者負担があるとわかっていて制度を導入することについて本市はどのように考えるのか」と質問。市の担当者は「国において付帯決議が行われておりますことから市としてもその動向を注目してまいりたい」と一貫して同様の答弁を繰り返しました。

最後に池田市議は「札幌市の経済を担っている市内事業者は、99%が中小・小規模事業者です。インボイス制度の導入は、事業者の暮らしと営業を壊すことに繋がり、札幌の経済を支えている多くの事業者の営業や生活に大きな影響が出る。本市の経済を支える事業者の営業と暮らしを守るために国に意見を上げることは重要」と求めました。

陳情は日本共産党、民主市民連合、市民ネットが採択を主張しましたが、継続審査となりました。

敬老パス JR やタクシーにも対象拡大を

6月12日 厚生委員会 長屋いずみ委員

敬老優待乗車証（敬老パス）の改善を求める陳情が出されたことを受け、この陳情を採択するべきだとの立場で長屋市議が質問に立ちました。

同市議は最初に「これまで何度も敬老パスの改善を求める陳情が出されております。この声に応えるべきだと思うがいかがか」と質問。市の担当者は「タクシー JR への利用を希望する声は、陳情のほか、高齢福祉課、保健福祉課、市民の声を聞く課など通して寄せられている」と認める一方で、「改善は、高齢化の進展に伴い、事業費が増加傾向にあり、将来にわたって持続可能な行政サービスを維持するため、まずは行政が担うべきサービス水準のあり方などの検討の必要がある」と改善には後ろ向きな答弁でした。続けて同市議は「敬老パスの拡充に税金を使うことに市民の合意はとれるのではないか、タクシー業者や JR にとっても利用が増え、経営の安定に繋がると思うがいかがか」と質問。市の担当者は「（主に高齢者）世代によって捉え方に違いが見られた。今後様々な場面を通して、市民意見を広く聴取する必要がある」と答弁し、経済効果については「経済の活性化にも資する面がある」と認めました。最後に同市議は「急ぎ、敬老パスの対象者と、これから対象になる方にアンケートを行うなど、利用拡大の希望があるかどうかを含めて把握すべきだと思いますがいかがか」と質問し、市の担当者も「（23年度以後の）適切な時期を見極めてまいりたい」とアンケートには前向きな答弁でした。日本共産党が採択すべきと主張しましたが、継続審査となりました。